

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	1 協働の仕組みの構築	1 参画・協働	1.571	6.429	1.857	0.143	◎参画・協働 ・まちづくり協議会設立の事例を作ること。区・自治会とまち協との関係(役割分担)を明確に。 ・まちづくり基本条例の検証が行われ、逐条解説が一部修正された。(令和8年2月) ・令和8年8月に町内初となる「ほんまちエリアまちづくり協議会」が設立、令和8年2月には「王寺南義務教育学区区まちづくり協議会設立準備会」が発足、参画・協働のまちづくりが進んでいる。 ・数値以上に努力の効果あり。ただ地域格差が大きく、課題が残る。 ・自治会加入について高齢化の為大会してる人が増えている。 ・協働の仕組みづくりや情報発信の充実、行政サービスの向上に向けた取組が着実に進展。 ・住民参画の促進や行政運営の効率化に一定の成果が見込まれることから「まちづくり協議会」の設立を進め、周知することによる浸透も必要。 ・住民・事業者・行政が連携し、自立的かつ持続可能な地域運営体制の構築が必要。 ・本町エリア、南義務教育学区エリアによる「まちづくり協議会」の設立準備会など、とても積極的に取り組まれていると思う。 ◎広報広聴・情報公開 ・デジタル関連は、コンテンツを充実させる必要がある。オープンデータは使い易さにに問題があるのでは。 ・町制施行100周年を契機として町の魅力を町内外に効果的に発信するシティプロモーションを推進した。 ・町HPの掲載場所が分かりにくい。(例)主要な個別計画が「行政情報」の「政策・計画」になく、「各課案内」の「業務案内」にあるものもあり、検索機能でたどり着く状況、令和8年度の公式サイトリニューアル(予算計上済)に期待。 ・SNSフォロワー数が増えているのは幅広い年代層に浸透しているためと感じる。 ・町の広報紙「王伸」の内容は分かり易く、駅前掲示板の様々な情報提供は王寺町にとっても大切な場なので、常に楽しみに見ている。庁職員にも、王伸を熟読いただく機会をできるだけ作って、施策に反映して欲しい。 ・電子回覧板など新しくみを取り組むなど、住民に対する情報提供・広報活動は成果を上げていると思われる。ただ、評価指標(KPI)が旧来のままでは、効果・実情が見えてこない。広報誌、HP、LINEなど手段の連携強化を図り、住民反応を把握するしくみを検討し、指標とするなどが必要と思われる。 ・LINEやホームページでの情報も大変役に立っている。 ◎人権 ・参加者の心に響く研修内容を。「たてまえ」だけの話では訴求力はない。町民の人権基礎意識改善の働きかけが必要。 ・一足飛びに成果が出るものではなく、地道な努力に敬意を表します。 ・人権学習懇談会について、開催方法を変更したため人権について知る機会が増えた人が多い。 ・出前講座形式は良いと思う。 ◎男女共同参画 ・「デジタル起業」以外にもサポートは必要。女性委員の比率を上げることはすぐにでもできるはず。トップの姿勢が問われる。 ・令和7年6月に男女共同参画フェアを盛況に開催。女性デジタル人材育成講座も定員を増員した。
		2 広報広聴・情報公開					
	2 お互いを尊重するまちづくり	3 人権					
		4 男女共同参画					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A: 高い効果が得られた B: 一定の効果が得られた C: やや不十分な効果にとどまった D: 効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
1 住民に開かれ自立するまちづくり	3 健全で効率的な行財政運営	5 行政サービスの提供	1.571	6.429	1.857	0.143	◎行政サービスの提供 ・行政DX化は一定進んでいるが、窓口対応の質の向上をはかりたい。 ・DX推進室の努力を評価するが、高齢者の存在を忘れないように願う。 ◎行政経営 ・DX以外の行財政経営改善策はないのか?窓口対応の「親切さ」「わかりやすさ」「迅速さ」「ワンストップ」とか。 ・更に、健全な行財政運営を望む。 ・デジタル化の推進により住民利便性も向上している一方で、地域課題が複雑する中、幅広い世代の参画促進や行政経営のさらなる効率化が必要。 ◎広域連携 ・図書館等公共施設の共同利用をもっと進めて欲しい。 ◎全体・その他 ・せっかくの施策が住民にしっかり伝わらず、理解不足なのではないか。男女共同参画事業の取り組みは理解されている。 ・政策と効果評価については、AIを活用して、KGIとKPIの因果関係(相関関係ではない)を明確にしていくとともに、新たなKPIを設定していくことも必要と思われる。 ・全体的には、目標値達成での効果が見られるが、基本方向・施策目標値の見直しが必要ではないかと思う。
		6 行政経営					
		7 広域連携					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
2 快適で暮らしやすいまちづくり	4 都市基盤の充実	8 土地利用	0.25	5.75	2.75	1.25	◎土地利用 ・駅周辺の都市機能については、店舗についても「美的」水準(センス)を保つ必要がある(集客・活性化のためにも)。 ・土地利用に関しては、金融機関として民間事業者とのマッチングに寄与できる可能性があることから改めて情報を整理し、積極的に関与したい。 ◎住宅環境 ・耐震化はもとより、火災(延焼)に強い住宅地とする必要がある(消火水源の確保等)。 ・「空き家除却促進に係る連携協定」を民間事業者と締結し、HPIにマニュアルや解体費用シミュレーターを掲載するなど空き家対策を推進している。 ・戸建て空き家対策大いに評価する。 ・人口減少や高齢化が進む中においても、快適な居住環境の維持は定住促進や地域価値向上に重要な役割を果たすことから継続的な取組が必要。 ・空き家対策も、自治会より話があがってきて、近所の空き家等もなんとかなるのでは…と期待できる。 ◎上下水道 ・広域水道企業団の報告は必要。下水道管の経年劣化を把握する必要がある。 ・令和7年4月から県域水道の一体化がされ、補助指標(基幹配水管路の耐震化率)の報告がないが、本計画では事業統合後も計画的に老朽管更新事業を実施できるよう働きかけると明記されており、必要と思うが?(組合設立の目的の1つ:老朽化対策・耐震化等による強靱化) ◎道路 ・道路や公園整備などの主要事業については、地権者のみならず周辺地域の住民の理解や協力、そして事業進捗にもつながるので計画や進捗等を広報して欲しい。 ・(道路・公共交通)困難で時間のかかる課題。KPIの妥当性も含め検討が必要で無いか? ◎公共交通 ・きめ細かな交通ニーズ把握が必要か(高齢者、障害者、子育て期の親、こども、交通不便地域、夜間)。 ・バスの減便により不便さは変わらない。 ・公共交通の利用促進として、バスの停留所のベンチや屋根がまだないところがある。かなり強い日差しの中で、バスを待っている老人を見かけて、早急に対応してほしいと思った。
		9 住宅環境					
		10 上下水道					
	5 交通ネットワークの整備	11 道路					
		12 公共交通					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
2 快適で暮らしやすいまちづくり	6 環境への配慮	13 環境保全	0.25	5.75	2.75	1.25	◎環境保全、循環型社会 ・日常的ゴミの減量がある程度できている。リサイクルは方法のシステム化が必要。 ・家庭から出る可燃ゴミ1人1日当たりの量△100gをめざした減量化目標を達成した。民間においても多くの資源ごみ回収ステーションが設置されている中、ごみのリサイクル率(KPI)を上げるのは困難では？ ・「水と緑のまちづくり町民運動」の役割には非常に大きいものがあるが、高齢化克服が課題。 ・ゴミのリサイクル率のアップ対策は？ ・クリーンキャンペーンも高齢化に伴い参加人数が減ってきた。 ・「雑紙回収袋」はとても役立っている。クリーンキャンペーンは、雨で中止ではなく延期になればよいのでは。 ◎都市景観 ・(看板、建物外観、放置物等の)線的、面的改善が必要。住宅地へのガイドラインがあってもいい。 ◎全体・その他 ・道路整備等、住民の目につきやすい事業は注目・理解しやすい。 ・都市基盤、住宅環境、公共交通、環境保全など住民生活を支える施策については、計画的な事業推進が図られ、生活環境の向上に一定の成果がある。 ・社会増減の分析を深掘りして、指標を設定していくべきではないか。また、例示ですが「減便・値上げ→利用者減→減便・値上げ→利用者減…」という負のスパイラル」はエビデンスがあつてのことか。バス運転者待遇の問題に起因する運転者不足や、事業者採算の悪化、自家用車の利用率など複合要因ではないか。その辺りを深掘りして、KPIを見直し。町内全体の交通網の強化、改善に結びつけることが必要ではないか。 ・具体的施策での事実上目標達成が出来るのかあるいは施策内容の見直し等(数値化)成果内容が解りにくい。
		14 循環型社会					
	7 水と緑の保全と創出	15 都市景観					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
3 安全で安心して暮らせるまちづくり	8 地域防災の充実	16 防災体制	2	5.75	1.75	0.5	◎防災体制、避難行動支援 ・地域の防災対応の仕組みの構築(個別計画)が急がれる。防災士の活躍の場、ネットワーク。 ・数値目標3(2)防災士資格者数のうち、職員が防災・減災に関する幅広い知識を有することは、災害に強い安全・安心な町を目指した協働の取組を進める上でも重要であることからコメントのとおり、推進してもらいたい。 ・「避難行動要支援者名簿」の協定締結は、54自治会中29自治会(令和8年2月末)にとどまっており、更に働きかけていただきたい。 ・「個別避難計画」作成した団体数(KPI)のコメントにあるように令和7年度から災害リスクによる優先度が高い方への、ケアマネジャーなどによる「災害時ケアプラン」策定を開始した。引き続き、自治会や防災会への働きかけも合わせて、努力いただきたい。 ・防災訓練は進捗状況説明の方向で進めて欲しい。特に避難所単位での訓練を。 ・防災体制の充実、避難行動支援、防犯・交通安全対策など、安全安心を支える施策は地域住民の生活基盤として重要であり、継続的な取組により効果がある。 ・近年の自然災害の激甚化や高齢化の進展を踏まえると、平時からの備えや地域連携の強化は大きな成果につながるため、更なる体制構築が急務。 ・防災士資格者数が目標をかなり上回っていることは、町内で研修できることが良いと思う。地域で、防災の意識を高めることは、安心に暮らせることにつながる。避難行動要支援者名簿などの「個別計画」を作成した団体数が少ないことが残念。 ◎防犯・交通安全 ・地区防災計画策定に努めるべき。避難所運営も住民の力を借りて行う必要がある。これには、地域自治協議会が有効。 ・警察や団体の協力を得て取組んでいる。引き続き、特殊詐欺対策・SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止に向け、敬老会などの機会を通じた啓発と、自転車の「青切符」制度も含め、交通安全ルールの遵守に向けた啓発・取組をお願いする。 ◎全体・その他 ・災害の多い近年、住民の注目度が高い。この項目は他の5つの項目とつながりが深く、地域住民の「つながりの大切さ」を様々な形で伝えることの大切さを痛感する。 ・KPIが、住民の求める安全安心の指標とずれているのではないかと。住民が、安心・安全を意識できるというのはどういうことか、例えば、他地域の災害対応を参照しながら、具体的施策をPRし、「認知」してもらうような指標を考えてはどうか。 ・全体的に政策施策内容が明確な表現で、進捗状況内容が理解ができる。
		17 避難行動支援					
		18 消防・救急体制					
	9 日常生活の安全確保	19 防犯・交通安全					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
4 健やかに暮らせる まちづくり	10 高齢者支援の充実	20 高齢者福祉	2	5.667	2.333	0	◎高齢者福祉、介護保険 ・認知症サポーターの活動の場。認知症カフェなど、地域で見守る体制を検討する。 ・介護予防教室等を継続して開催し、受講者数が着実に増加している。 ・介護予防教室が増え、受講者数が増えたことはとても良いと思う。 ◎障がい者福祉 ・相談をしたあとの筋道が重要。 ◎健康づくり ・簡単な運動はしている人は多いが、他方ガン検診の比率は低い(地域での取り組みが能性か)。 ・がん検診について受診率が伸びていない。(王伸8月号にも特定健診や肺がん検診の受診や、肺がん予防講演会開催など啓発されているが、検診の重要性の啓発も必要?) ・がん健診受診率が低い。どういう対策をとっているのか? ・けん診受診率が増えているとはいえ、まだまだ低い。 ・健康ステーションのアピール度が少ないように感じる。実績は伸びているが、認知症サポーター養成講座や介護予防教室、傾聴ボランティア入門講座、サロンなど、沢山の参加を期待する。がん検診など毎年あってほしい。2年1回となると忘れてしまうので。 ◎地域福祉 ・サロン参加者を各種ボランティアにつなぐ。 ・社協主催のサロン参加者数(KPI)が目標値を上回るとともに、延べサロン活動参加者数がコロナ禍前に回復している。 ・サロン個所数の増加対策は如何に。このままでは担い手は減少していくだろう。 ・サロン参加者が増え、今後ますます増えていくと思いますが対応が大変である。ボランティア育成がさらに必要。 ◎全体・その他 ・自分に身近になって、慌てる要件。高齢者福祉に関しては、目前に様々な選択ができる情報が必要なのではないか。 ・誰に対する施策かを明確にして、それぞれの層別評価をしていく必要があると思う。例えば、子育てと高齢者対策では施策内容や効果測定も内容が異なるはず。また複数の施策が、効果を生んでいるかどうかをフォローしていくことで評価すべきと考える。 ・高齢者福祉、障害者福祉、健康づくり、地域福祉及び子育て支援に関する施策は、住民の暮らしを支える基盤として重要な役割を果たしており、概ね着実に進展。特に子育て支援や健康づくりの取組は将来的な地域活力の維持にもつながる一方で、少子高齢化の進展に伴い福祉需要は今後さらに増加することが見込まれるため、体制構築が急務。
		21 介護保険					
	11 障がい者支援の充実	22 障がい者福祉					
	12 健康づくりの推進	23 健康づくり					
	13 地域で支え合うまちづくり	24 地域福祉					
		25 国民健康保険					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	14 子ども・子育て支援の充実	26 子育て支援	0.1	7.2	2.3	0.4	◎子育て支援、母子保健 ・子育てに関する相談・対応システムを官民で作る(NPO等の参画等)。 ・令和7年3月に「町こども計画(子ども政策を総合的に推進する計画)」を策定した。 ・王寺町で子育てをしたいと思う親の割合【4か月児の親】(KPI)が目標値を上回る伸びを示している。 ・子育て支援で相談できる人や場所がない保護者が増えていることは残念、親の困り事など相談できる子育て支援策を望む。 ◎保育環境 ・女性の就労(具体的施策4と連動させる必要あり)。 ・令和7年4月に新たな認定こども園の開園、在園要件を撤廃した0歳児から2歳児までの第2子目以降の完全無償化を実施。令和8年度からは課税世帯にかかる保育料の減免率を15%から30%に拡充した。保育園入所待機児童数(KPI)は令和7～8年度は0と目標値をクリアしている。 ◎就学前教育 ・親の満足度以外の指標。 ・「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」と思う保護者の割合(KPI)が伸びている。 ・町立幼稚園でのアンケート結果が上昇していることは、保護者が信頼して安心できていて良かった。 ◎学校教育 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査(8年生(中2))における平均点(KPI)男女のコメントが同じであるが、男女差の分析は？ ・町立幼稚園でのアンケート結果が上昇していることは、保護者が信頼して安心できていて良かった。
		27 母子保健					
		28 保育環境					
	15 学校教育の充実	29 就学前教育					
		30 学校教育					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
5 人を育みみんなが学べるまちづくり	16 生涯学習の充実	31 生涯学習	0.1	7.2	2.3	0.4	◎生涯学習 ・生涯学習推進計画が必要ではないか(教育振興ビジョンはあるが、生涯学習については薄い)。 ・令和8年3月に「第2期王寺町教育振興ビジョン」を「生涯学習基本計画」「文化芸術基本計画」「スポーツ推進基本計画」を包含した一体的な計画として策定した。 ・「生涯学習施設の利用者数」「町主催の文化事業の来場者数」「町内体育施設の年間利用者数」(KPI)がコロナ禍前に回復してきた。 ・生涯学習施設の受け入れ姿勢はかなり充実している。 ・6年生の地域行事への参加意識は低い結果になっているが、もっと参加を促進する増えると思う。やわらぎトラストやテニスパークへの利用が増えることも期待できそう。 ◎青少年健全育成 ・参加プログラムの改善の検討。 ・学校、家庭、地域の連携について、対策を考える必要があると思う。 ◎文化・芸術活動 ・文化芸術活動の支援策を再検討する必要があるのでは。「文化振興計画」策定など。生涯学習と連携して。 ◎スポーツ・レクリエーション ・町民の求めるスポーツとは。 ・令和8年3月に王寺テニスパーク(夜間照明を備えた6面のテニスコート)が完成、オープンした。 ◎全体・その他 ・合計特殊出生率は現状をどのように受け止め、今後の対策をどのように考えるか？ ・住民に身近で注目度の高い施策なので、とりわけ、しっかり情報提供することが重要。 ・ネットでたやすく情報が得られる昨今、本を読む層が大きく減少しているという調査が出ている。ということから言えば、例えば図書の貸し出しという評価は、いずれ減少に転ずるのではないかとと思われる。他のカテゴリーでも同様であるが、KPIを見直していくことが必要ではないか。 ・昨今の高齢者社会状況での多種多様の施策に対して実施改善されている。 ・学校教育、生涯学習、文化・芸術、スポーツ活動など幅広い取組が継続的に実施されており、人材育成と地域コミュニティ形成に一定の成果がある。今後はデジタル教育環境の充実や地域資源を活用した学習機会の創出を進めるとともに多様な世代が学び続けられる環境整備を図る必要がある。
		32 青少年健全育成					
	17 歴史文化 ・スポーツ活動の振興	33 文化財					
		34 文化・芸術活動					
		35 スポーツ・レクリエーション					

王寺町総合計画後期本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略) 効果検証の評価・意見 集計

基本目標	基本的方向	具体的施策	評価(人・複数選択は按分) A:高い効果が得られた B:一定の効果が得られた C:やや不十分な効果にとどまった D:効果は不十分もしくは見られなかった				委員コメント
			A	B	C	D	
6 活力とにぎわいのあるまちづくり	18 活力の創出	36 産業・雇用	1	6	2.667	0.333	◎産業・雇用 ・外部からの集客より、「日常圏」の利用に係る店舗等が必要。また、新しい店舗の出店の支援も重要。 ・金融機関としても創業支援、事業承継支援、DX推進支援等を通じて地域事業者の成長と地域経済の持続的発展に貢献していく必要がある。事業承継に関する問題(個人事業主や経営者の高齢化、後継者不在)が増加する可能性は高く、次回見直し時には講じている対策を追加するとともに定着を図る必要がある。産業・雇用の創出、定住促進、観光・交流の推進に関する施策は、地域経済の活性化と町の魅力向上に寄与しており、一定の成果がある。人手不足や事業承継など地域経済を取り巻く課題は依然として大きく、継続的な支援が必要。 ◎定住促進 ・定住意向の本丸は「交通の便」と「居住(住宅)環境」。ここのかさ上げが重要。あと、住民ネットワーキング(住民自治・地域自治)のソフト面。 ◎観光・交流 ・観光は自前主義ではなく、広域(西和地域→奈良県)で考えるべき。町内の観光資源を発掘するより、圏域の観光資源へのアクセスのハブとなるという考えもある。そのためには、王寺町(特に駅周辺)の魅力向上が重要。 ・数値目標6(4) 町周辺宿泊者数は目標値を上回っており、東横インの令和7年度の平均稼働率は83%と高く地域の活性に寄与している。 ・「大阪・関西万博」「町制施行100周年」を契機として町内外にプロモーションするとともに、記念セレモニーや冠イベントを開催し観光誘客を図った。数値目標6(3) 数値目標6(3) 町の観光入込客数、㊼達磨寺来訪者数(KPI)が前述のように観光誘客に努力したのに前年に比べ減少したのは？ ・明神山の来訪者数(KPI)は、これまでのハード・ソフト両面の取組、令和7年3月には国の登録記念物(名勝地関係)に登録され、さらにPRしているがそれほど伸びていない。令和8年7月には6つの世界遺産の眺望が新たな魅力となり、今後の誘客に期待している。 ・達磨寺の行事の案内を幼稚園や学校で配布されていることは、とても良いと思う。明神山入口辺りにあるオリーブ園のアピールになると思う。鉄道イベントや久度マルシェは大人も楽しめて良いと思う。(明神山の入口のオリーブ園をきれいにしてほしい) ◎全体・その他 ・にぎわいのあるまちづくりについては、住民として大いに満足。 ・社会増減の原因分析を行い、それにあった指標が必要ではないか。施策と、評価の関連を見るとともに、その成果をダイレクトに見ることができる評価が求められていると思う。 ・町内一部の地域に視点をおかずに町全体を視点におき、総合的な計画も良いと思う。
		37 定住促進					
	19 交流の促進	38 観光・交流					

○評価の視点:効果を得ることができているか。 長期的な効果が見込めるか。 事業の進め方、事業内容、実施主体は適切か。